

初心者でも安心！

経験0から始める

FX 基礎用語集

【目次】

Chapter 1. はじめに

Chapter 2. FX とは

- FX の魅力
- FX のリスク

Chapter 3. FX 基礎用語

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| —用語 1 : MT4 | —用語 11 : エントリーと決済 |
| —用語 2 : 通貨ペア | —用語 12 : ロングとショート |
| —用語 3 : 時間足 | —用語 13 : ロット |
| —用語 4 : トレード手法 | —用語 14 : レバレッジ |
| —用語 5 : スワップポイント | —用語 15 : 証拠金 |
| —用語 6 : スプレッド | —用語 16 : 損切り (ストップロス) |
| —用語 7 : トレンド相場とレンジ相場 | —用語 17 : ロスカット (強制決済) |
| —用語 8 : ボラティリティ | —用語 18 : 自動売買 (EA) |
| —用語 9 : pips(ピプス) | —用語 19 : テクニカル |
| —用語 10 : ポジション | —用語 20 : ファundamental |

Chapter 4. 最後に



Chapter 1 . はじめに

特別レポート『経験0から始める FX 基礎用語集』を読んで頂きありがとうございます。

このレポートでは、たとえ FX 経験がゼロであっても理解できる
「FX とはこういったものなのか?」「抑えておくべき基礎用語」
ということについて詳しく解説していきます。

基礎用語は、必ずしも覚えなければいけないものではありませんが、
基礎を熟知することで、応用もできるようになりますし、
様々な本や教材を手にした時にもとても役立つ知識としてあなたを支えてくれます。

また自動システム「武蔵」を理解するためにも必要不可欠な
「テクニカル」と「ファンダメンタル」についてもお伝えしていますので
ぜひ最後までじっくりと読んでみてください。

Chapter 2. FX とは

FX とは**外国通貨を交換**することを言います。

正式な名称は「外国為替証拠金取引」と呼び、

正式名称は（Foreign eXchange）の頭文字を持ったものです。

国の通貨（ドル、ユーロ、ポンド、円）は数多く存在しています。

皆さんもニュースなどで「1 ドル～円～セント」なんて言葉を聞いたことはありませんか？

それらのことを“為替レート”と呼びます。

為替レートは売買を繰り返し日常的に変動しています。

このレートの変動を利用し、

通貨を売買することでその差が利益となります。

【参考例 1 安く買って高く売る】

1 ドル = 100 円の際に 10,000 円で 100 ドルを買います。

その後、この 1 ドルの価値が 110 円になりました。（1 ドル = 110 円）

この 100 ドルを売って円に戻します。

売った額が 11,000 円になり最初に買った金額から引くと

〔11,000 円（売却額） - 10,000 円（購入額） = 1,000 円（利益）〕 となります。



【参考例 2 高く売って安く買う】

1 ドル = 110 円の際、手元にドルがないが取引所に

後でドルが手に入ったらそれを渡す条件で 100 ドル売った契約を先に交わします。

その後、この1ドルの価値が**100円**になりました。(1ドル=100円)

10,000円を**100ドル**で買います。

この手に入れた**100ドル**を交わした契約に基づいて取引所に渡すと、

既に**1ドル=110円**で売る契約をしていたので、

{**11,000円 (売却額) - 10,000円 (購入額) = 1,000円 (利益)**} となります。

このように**安く買って高く売る方法**と、**高く売って安く買う方法**の
2パターンで利益を作ることができます。

■FXの魅力とは？

FXの魅力は3つあります。

一つ目は、

国を越えて世界中で月～金まで24時間為替の取引ができることです。

世界中にある金融機関が相互に取引を行っているインターバンクを中心に

1対1の関係で通貨、数量、価格を決め、直接取引をしています。

日中で働いている方も、時間を気にせずに好きなタイミングで自由に取引ができます。

二つ目は、

レバレッジを使って少ない資金で始められることです。

このことによって少しの資金からでも最終的には大きな資産を生み出すことが

可能となります。ただし、間違った方法での取引をすることで、

損失も大きくなりますので、資金管理を正しく行い取引をする必要があります。

三つ目は、

損失を自分で決めることができることです。

投資の種類によってはお金が知らないうちに0になることもありますが、

FXでは**自分のタイミングで損益を決める**ことができます。

平日なら 24 時間いつでも取引ができる
レバレッジをかけることによって少ない金額で大きな額を稼げる
FX は自分のタイミングで損益を決めることができる

■FX のリスク

まず、FX に限らずほぼすべての投資は

自分の予想とは反対の方向に**為替相場が変動するリスク**があります。

予想と反対方向に変動してしまえば、もちろん損失を出してしまいます。

次に**レバレッジによるリスク**です。

レバレッジとは、少ない金額で大きな金額を動かすことができ、

大きな利益を狙えることができる一方で、

損失がでた時も同じように損失額も大きくなるので注意が必要です。

FX はギャンブルではなく、投資商品ですので、

【リスク管理】を怠ってしまった人から退場してしまう世界であり、

正しくリスク管理を行うことですべての人に平等に大きなチャンスがあるものです。

リスク管理を**正しくコントロール**することで
大きなチャンスをつかむことができる。



Chapter 3. FX 基礎用語

【用語 1】 MT4

FX 会社のページを見ていくといくつかの会社で MT4 の単語を見るかと思います。
これは自動売買機能や優秀なチャート機能がついている **FX 取引プラットフォーム** です。

世界中で最も多く使われている取引プラットフォームで、無料でダウンロードでき、
無料で利用することができます。

多くの投資家がこの MT4 を使い取引を行っています。

更に無料のデモトレード（実際にはお金が発生しない仮想取引）で練習ができ、
実際にトレードを行うことができます。

MT4 は**世界で最も使われている FX 取引プラットフォーム**

【用語 2】 通貨ペア

取引を行う時に選択する**通貨と通貨の組み合わせ**のことを意味しています。

通貨ペアの種類や組み合わせは FX 会社によって様々です。

一般的に広く使われている通貨のことを「メジャー通貨」といい、
それ以外を「マイナー通貨」と呼びます。

ドルと円を組み合わせた通貨ペアは「**ドル円**」と呼び、
ユーロとドルを合わせたものは「**ユーロドル**」と呼びます。

ドル円の相場で「買う」「売る」の意味は、
ドルに対して「買う」「売る」行為を行うことです。

つまり、左側に表示されている通貨に対して「買う」「売る」ことを表します。

「通貨の交換」 = 必ず 2 つの通貨が一对となります。

(例)

ドルと円	⇒	ドル/円
ユーロとドル	⇒	ユーロ/ドル
ポンドとドル	⇒	ポンド/ドル



通貨ペアとは取引をする 2 つの通貨の組み合わせである。

【用語 3】 時間足

ある一定の時間で形成される足のこと。

正確にはチャートと呼ばれる為替相場の動きを表す 1 本 1 本の棒のことを言います。

下の赤丸で囲んでいるこの 1 本 1 本が時間足と呼ばれます↓



時間足チャートの種類は、

「1分足」「5分足」「15分足」「30分足」「1時間足」「4時間」
「日足」「週足」などがあり、それぞれの時間軸の中で起こった
為替の変動をひとつ一つの棒の中で表したものです。

例えば「1時間足」のチャートでは、

1時間に1本の時間足で構成されています。

5分足なら5分に1本、日足なら1日に1本です。



見る時間足によって、相場の流れの捉え方が変わってきますので注意が必要です。

時間足とはそれぞれの時間軸が示す中での為替の動きを表したもの

【用語4】トレード手法

トレード手法とは読んで字のごとく、為替チャートの中で取引をするための方法です。
種類や数については数多く存在しますが、ここでは代表的な3種類を取り上げています。

■1分足や5分足などを用いる

「スキャルピングトレード」

元の意味は「薄く頭の皮を剥ぐ」と言われるほど、

数銭から数十銭などのわずかな利幅を狙い、

1日に何度も取引を行って利益を積み重ねる超短期売買手法です。

このトレード方法は短時間ですべての取引を終了するため、

精神的にも負担が少ないと思われがちですが、

決済のスピードが速く利益が薄い分、何度も取引を勝ち続ける必要がある為、

強靱な精神力がないと続きにくいという特徴があります。

また取引自体の勝率が不高くないと総じてマイナスに転じる可能性があります。

ですがメリットとして、短期の取引になるので

急激な為替変動による通貨の変動に左右されにくいことが挙げられます。

■1日以内取引を終える

「デイトレード」

1日のうちに売買した通貨を決済し損益を確定するトレード方法です。

具体的には、短期的に利益を確定させるために、一日のうちに数回の売買を行い、

その日のうちに決済し、翌日に持ち越さない取引の方法です。

基本的には、一日以内の短時間での取引ですので、

小～中利幅をコツコツと積み重ねていく取引方法となります。

■中長期的なスパンで取引する

「スイングトレード」

中長期にわたりポジションを保有するトレードで、

短くても数日、長くて1週間から1ヵ月程度の対象通貨を保有し、

タイミングを見て決済を行う投資スタイルです。

長く期間を保有する分、スキャルピングやデイトレードと比べ

利益幅が大きく、小さな動きにいちいち反応する必要がないので

ゆとりを持ったトレードを行うことができます。

その反面、**災害や突発的な事故などで起こる大きな変動により**

極端に相場が変動することに警戒をしておく必要があります。

以上が代表的なトレード方法となり、世の中にあるトレード手法は、

そのほとんどがこの3つに分類されます。

すべての手法は **3つの取引方法** に分類される

【用語 5】 スワップポイント

スワップポイントとは通貨ペアの**金利差調整額**のことです。

FX 取引では、種類の異なる法定通貨を売買し、

最終的には価格の変動により再度、売買を行って取引を完了します。

最初の売買から再度売買をするまでのポジションを取っている時間は、

短期のトレードもあれば長期のトレードもあります。

その間の金利差について、ポジションを維持した日数分加算される仕組みで、

日毎に精算が行われるので、毎日受け取ることができます。

ただし、メジャー通貨と言われる通貨のスワップは低く設定されており、

取引量が少なく、大きな変動が起こりやすい「マイナー通貨」のほうが

高いスワップを受けとることができます。

スワップとは**通貨ペア同士の金利差調整額**

【用語 6】 スプレッド

スプレッドとは**通貨を売る時の値段 (BID) と通貨を買う時の値段 (ASK) の差**こと差し、

毎回取引する際に**払わなければならない手数料**のようなものです。

買値と売値に差をつけることで、証券会社はこの差分を利益にしています。

また、この買値と売値は Ask と Bid と表記されることがあります。



このように売値 (BID) と買値 (ASK)の差は0.003円となり、これが証券会社の手数料として払っていく形になります。

※上記のスプレッドは証券会社ごとに異なります。

このため、取引を開始した際は、この“スプレッドが引かれた状態”でスタートするので必ずマイナスからはじまります。

スプレッドとは買値と売値の差額であり手数料のようなもの

【用語 7】トレンド相場とレンジ相場

通貨は常に売り買いが行われており価格が変動しています。

これを相場と言い、相場には**トレンド相場**と**レンジ相場**があります。

【トレンド相場】

トレンド相場とは**一定の方向へ継続した動きがみられる相場**のことを指します。

そしてその相場は**上昇トレンド**と**下降トレンド**の2つに分かれます。

【レンジ相場】

トレンド相場のように一定方向に継続した動きをせずに

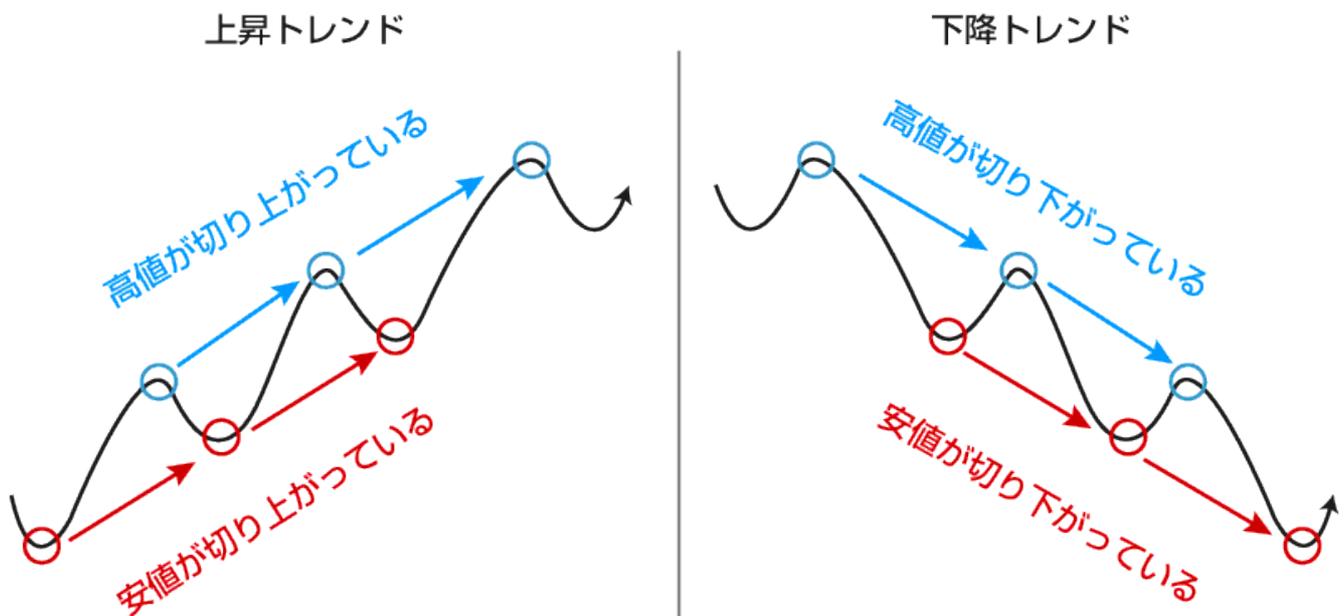
一定の値幅で上下を繰り返す相場のことを言います。

■ 上昇トレンド

高値と安値が右肩上がりになり、チャートの流れが上昇している状態です。

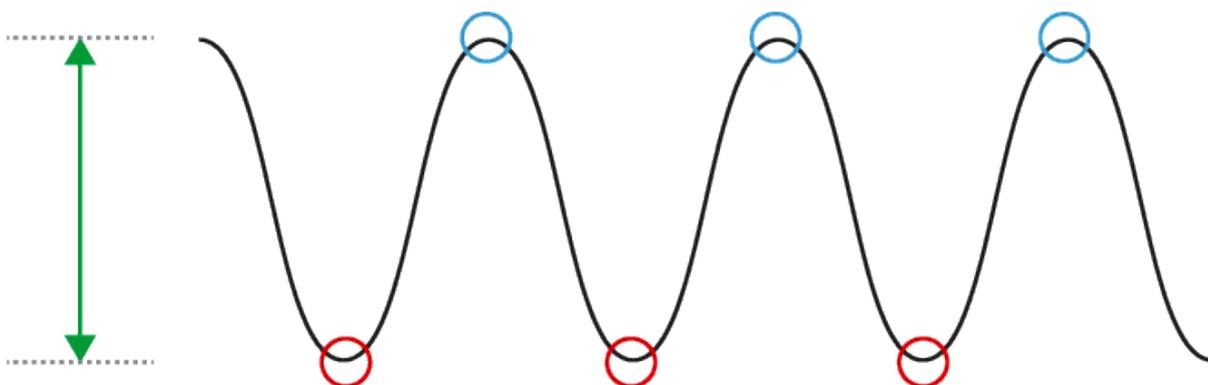
■ 下降トレンド

高値と安値が右肩下がりになり、チャートの流れが下降している状態です。



■ レンジ相場

一定の値幅で動く



相場は必ず、上昇トレンド・下降トレンド・レンジの3つに必ず分かれています。

トレードにおいて大切なのは、今の流れがどんな相場になっているかを的確に見極め、その相場に合った取引方法を行うことがなによりも大切なのです。

チャート（為替市場）は必ず **3つの相場のどれかに分類される**

【用語 8】 ボラティリティ

ボラティリティとは、通貨ペアの価格の変動性（変動率）のことを言います。



上記の赤いラインを見ていただくと分かるにレートが急に下がっています。この変動差を“ボラが激しい”など表現したりします。

一般的にメジャー通貨ペアは価格変動が小さい傾向があり、その一方でマイナー通貨ペアは価格変動が大きい傾向が見られます。

ボラティリティとは**為替の変動**のことを指す

【用語 9】 pips(ピプス)

「pips (ピプス)」とは通貨価格の最小単位のことです。

円を取引として使う場合は表示レートの小数点以下第2位の値 $0.01 = 1\text{pip}$ (ピップ)となり、それ以外の通貨は小数点以下第4位の値 $0.0001 = 1\text{pip}$ (ピップ)と表現します。

(例)

ドル/円のレートが 100.50 から 100.55 になった場合、これを「5pips 上昇した」と言います。

【pips ごとの損益について】

「1pips がいくらの損益になるか」を覚えておくと、損益計算をする際には非常に便利です。

1万通貨でエントリーする場合・・・1pip=100円(円建ての場合)

(例) 100.50 で買い、100.55 で決済した場合 1万通貨でのエントリーなら 500円の利益となります。

Pips とは通貨価格の**最小単位**

【用語 10】 ポジション

FX 取引において自分がエントリーし、現在保有している通貨の持ち高のことです。

外貨を買っている状態を「**ポジションを持っている**」や、売っている状態を「**ポジションを保有している**」と言います。

取引している通貨の量を減らした、または増やしたことを

「ポジションを減らした」「ポジションを膨らませた」などと表現したりします。

ポジションとは**現在保有している通貨の持ち高**

【用語 11】 エントリーと決済

【エントリー】

エントリーとは注文してポジションを持つことをいい、
トレードを開始することを意味しています。

※相場に「参加する（エントリー）」という意味

【決済】

保有しているポジションの含み損または含み益を確定する注文のこと。

※「決済」 = 「利益確定」ではありません。

- ・含み損・・・決済していない状態での損失
- ・含み益・・・決済していない状態での利益

エントリーは**ポジションを持つ** 決済は**ポジションを手放す**

【用語 12】 ロングとショート

先ほど説明したポジションを、**外貨を買ったポジション**と

外貨を売った時のポジションにはそれぞれ呼び名があり、

外貨を買った状態のことを「**買いポジション**」または「**ロングポジション**」と言い、

外貨を売っている状態のことを「**売りポジション**」または「**ショートポジション**」と言います。

ロングは**買いポジション** ショートは**売りポジション**

【用語 13】 ロット

ロットとはトレードの際、どれぐらいの資金で取引するか、

取引の際の**取引数量のことで FX 相場での共通単位**となります。

FXは「1ドルだけ買う」ということができません。

「1ダース」「1カートン」などと同様に、ロットとして「まとめて注文する」します。
1ロットがどれぐらいの数量なのかは証券会社によって異なります。

基本的に国内では**1ロット=1万通貨（または1,000通貨）**

海外では**1ロット=10万通貨**となります。

例えば「1万通貨」とは…

ドル/円では「1万ドル」ユーロ/ドルでは「1万ユーロ」を表します。

ロットとは**エントリーする際の取引数量**

【用語 14】レバレッジ

レバレッジは「てこ」を意味していて、「小さな力で大きなものを動かす」意味です。
つまり**少ない資金で大きな資金を動かすことができる仕組み**のことです。

証券会社ごとにレバレッジの最大量が決まっています。

国内・・・最大レバレッジ 25倍

海外・・・レバレッジ規制はない（200倍・400倍・888倍などがある）

レバレッジ 25倍の証券会社であれば、

100万円の取引なら4万円（25分の1）が必要となります。

=4万円預けることで、その25倍（100万）を動かすことができる。

（例）

1ドル=100円の時・・・

ドル/円の通貨ペアで5万ドルを買いたい場合、

本来なら5万ドル=500万円が必要になりますが、

レバレッジが25倍の証券会社なら $500万円 \div 25 = 20万円$ の

証拠金があれば 500 万円分の取引ができるということになります。

レバレッジをかけることで、
少ない資金で大きな金額を動かすことができる

【用語 15】 証拠金

証拠金とはレバレッジをかけた取引を行う為に必要な担保金のようなものです。
エントリーするごとに取引数量に応じて、一定数量を預けることとなります。

証拠金の種類には**必要証拠金**と**有効証拠金**の2つがあります。

必要証拠金・・・保有しているポジションを維持するために必要な証拠金の額です。

有効証拠金・・・口座の残高に評価損益を加えた値です。

また、取引によって必要証拠金の金額を割ってしまった場合は、
強制的にポジションを決済されます。

これは、FX 投資によって預けている額以上の損失を出して、
資産をマイナスにしないための仕組みが働くためです。

FX で取引をするには**必ず最低証拠金が必要**

【用語 16】 損切り（ストップロス）

FX 取引において、自分の予想に反して相場が変動してしまい、
ポジションの損失を限定するために行う決済注文のことです。

この「損切り」を行わないと、そのまま損失が拡大していく可能性があり、
なるべく損失を最小限に留めるためにポジションを決済する必要があります。

損失が発生した赤字の状態で決済することになるので、躊躇してしまいがちですが、素早く損切を行うことでより大きな損失を防ぐことができます。

損切り（ストップロス）は**資産を守るための大切な自分ルール**

【用語 17】 ロスカット（強制決済）

ロスカットとは、ポジションに損失があり、証券会社の取引ルールに基づき、一定レベルに達した時に、更なる損失の拡大を未然に防ぐため、その対象ポジションを強制的に取引終了させるルールのことです。

ロスカットになる条件となるのは**証拠金維持率の数値**がどれぐらいあるかです。証拠金維持率とは、現在のポジションに対しての必要証拠金の割合を指します。

いくら維持率に対してロスカットが行われるかは、各証券会社ごとに異なりますので**各証券会社がロスカットする証拠金維持率はしっかり把握しておきましょう。**

（ロスカットにならない為の注意点）

- ・ FX 口座に入金を行う。純資産が増える為、証拠金維持率が上昇します。
- ・ ポジションの1部を決済します。必要証拠金が減る為、証拠金維持率が上昇します。

ロスカットは**お客様の資金を守るための特別決済ルール**

【用語 18】 自動売買（EA）

FX 取引の方法は大きく分けて裁量（自分で取引する方法）と、自動売買プログラム（自動システムを使った取引）があります。

自動売買プログラムは EA（エキスパートアドバイザー）とも呼ばれ、

MT4 上で使用することができ、**人の手を介さず自動的に売買取引を行ってくれる**ものです。

セットしておくだけで 24 時間、365 日稼働させることが可能なので、設定さえ行えば、誰でも簡単に取引を進めていける魅力があります。

プログラムが 24 時間相場状況を監視して注文を出してくれますので、忙しくてあまりチャートを見ている暇がない人でもシステムが自動で取引タイミングを見逃すことなく FX 取引を行ってくれます。

自動売買 (EA) は **24 時間自動で監視取引を行うツール**

【用語 19】 テクニカル分析

「テクニカル分析」は簡単に言うと過去の為替相場の値動きをグラフ化したものである**「チャート」を研究し分析して未来の値動きを予想していくもの**です。

チャートは通貨の取引の結果をグラフにしたものなので過去に似たパターンがあれば、将来も同じような動きになる可能性が高いと考えることができます。

そして、この分析に使われるのがテクニカル指標と呼ばれるもので MT4 に搭載されている「移動平均線」や「MACD」などのインジケータのことを指します。

これをチャートに表示させ現在のチャートと照らし合わせることで **今の相場がどういった状況なのか、これからどう動いていくのかという予測を立てていきます**

どのようにして予測を立てるのかは使用するインジケータによって異なるのですが大きく 2 つに分けることができ、1 つは**相場の方向性を捉えるトレンド系**、もう 1 つは**相場の強弱を捉えるオシレータ系**になります。

トレンド系はその名の通り、今の値動きのトレンドを見極めるための指標になります。

相場は動向によって、右肩上がりの上昇トレンド、右肩下がりの変動トレンド、横ばいのレンジ相場という3つに分けることができますが、トレンド系のテクニカル分析では、今の相場がこのうちのどれなのかを見極めることで今後の予測を立てることができます。

対して、オシレータ系というのは

「買われすぎ」「売られすぎ」といった相場の強弱を計測するものです。

オシレータとは振り子のことで振り子のように

「買われすぎに対する反動として売りに転じるのでは？」

「売られすぎに対する反動として買いに転じるのでは？」

という予測を立てる考え方です。

テクニカル分析では、相場の動きを視覚的に見ることができますし、

過去のデータを元に算出するものなので

これまでの相場の動き、投資家心理に基づいた分析を行うことができますので

今後の値動きの予測を立てるのに有効な手法といえるでしょう。

テクニカル分析をすることで**大衆心理を見極めることができる**

【用語 20】 ファンダメンタル分析

「ファンダメンタル分析」とは、世の中の動きを分析して未来の値動きを予想するものです。

具体的に言うと「ファンダメンタル」というのは**為替相場に関係するニュースや情報**を指し、それをもとに**世界各国の経済状況の動向を分析し、今後の値動きにどう影響を与えるのかを予測すること**がファンダメンタル分析です。

為替を左右する要素として

景気、金利、地政学リスク、原油などの商品価格、政治の安定度等があります。

例えば景気が良いとき、具体的には国内総生産が高いときには通貨の価値は上昇しますし、一般的に金利が上がれば通貨の価値も上がるとされています。

このように**各国の経済状況と通貨価値は密接な関係**にあるため、経済状況を分析することにより、大きく見た値動きの傾向、トレンドを掴むことができます。

他にも、経済活動を数値化した各国の「経済指標」や「金融政策」、「財政政策」、そしてそれに関する要人発言も為替に影響を与えるとされています。

この発言や発表による値動きは予測するのが難しく、その一件により相場が大きく動くことも少なくありません。

多くの指標は発表時間が決まっていますので、事前にチェックし価格が大きく動くかもしれない**重要指標の前には一度ポジションを決済する、ポジションを持たないといった準備をすることが重要**になります。これもファンダメンタル分析のうちの1つです。

また、これらの重要指標はニュースを見たり、意識して指標をチェックすることで準備することができますが**事前に準備できない突発的な事象が起こることもあります。**

例えば「リーマンショック」です。

リーマンショックとは、米国の大手投資銀行・証券会社リーマン・ブラザーズの経営が破綻し、株価も為替も大暴落した出来事のことです。

ドル/円相場では10円近くも円高となるなど

リーマンショックが世界経済に与えた影響は今でも語り継がれるほど大きく深刻でした。

こういった突発的な事象が起きた時、

最も大切なのはいかに素早く対応できるかということです。

しっかりと各国の経済をはじめとする状況を理解・分析できていないと

「またすぐに復活するかもしれない」という淡い期待を捨てられずに迷っているうちに損失が大きくなったり、大きな事象が起きた時に「すぐに対応しなければならない」ということ自体に気づかず知らぬ間に損失が膨れ上がったり、ということもあります。

実際リーマンショック後も円高は止まらず、

リーマンショックが起きた9月より10月の方が価格が大きく変動しています。

このことから**突発的な事象が起きた際すぐに対応することがいかに大切か**がわかります。

リーマンショックはかなり大きな例ではありますが

大統領の就任や災害などでも為替が予測できない形で大きく動くことはあります。

そういったときも同様に各国の経済状況を分析し、早急に対応することが大切なのです。

冒頭でもお話した通り、ファンダメンタル分析は

大きなトレンドを掴むことがメインとされていますが

しっかりと頭の中に入れておくことがとても重要です。

そうすることで大きな指標がある際、

そして突発的な事象が起きた際に素早く対応することができ

利益を守ること、損失を抑えることへと繋がっていくのです。

ファンダメンタルを**常に頭に入れておくことで、
大きな被害を未然に防ぐことができるようになる。**



Chapter 4. 最後に

ここまで読んでいただきありがとうございます。

ここまで必要最低限の用語をお伝えしましたが、

FXには用語というものがまだまだたくさん存在しています。

ですが、はっきりってそれらすべての用語を完全に理解する必要はありません。

投資で利益を出すために本当に必要なモノは、

具体的で明確な手法であり、「その方法」が長く使えるかどうかです。

私達はこれまで多くの投資家の育成やシステムの開発を行ってきましたが、

長く勝ち続けている人の中には、**用語など一切覚えてない人もザラにいたりします。**

なぜそんなことも覚えてないのに稼げるのか？

それは、自分自身で取引を行うことを最初から切り捨て、

自動システムに稼いでもらうことを決めて **「使いこなすことだけに注力」**した結果、

自分の生活スタイルに合った運用ができているからにからに他なりません。

そういった全く知識がないのに稼いでいる方は、

もれなく **「賢く他力本願」** できているのです。

必要なのは用語を覚えることではなく、

あくまで **「お金を増やすこと」** です。

なので、自分自身がプロトレーダーのように多くの知識や手法を研究するのではなく、

そういった知識や技術を凝縮させた“機械”をうまく使うことで、

ある意味プロのトレーダーよりも効率的に多くの利益を得ることができるのです。

投資の知識や手法の研究もとても大切ですが、
そういった知識を持ったものがすでにあるのであれば、
**うまく活用し使いこなすことに注力することでより早く
利益を求めることができるのだと私は思っています。**

限られた時間も資金の中でコツコツと勉強するのも構いませんが、
限られた時間と資金だからこそ、最大限の効率で利益を生み出したほうが、
精神衛生的にも良いはずですよ。

私達はこれまで数多くの投資家を研究し、システムを制作してきました。

ここ最近自分たちの中だけで使っていることがほとんどの中、
本当に必要としている人たちがいるということに共感し、
自動システムツール「武蔵」を提供させていただきました。

このシステムをより深く理解していただき、
あなたの大切な資産をしっかりと着実に増やしていけることを
心から願っています。そして賢く他力本願してみてください。

きっと、これまでの常識がガラッと変わると思いますよ。

最後までお読みくださりありがとうございました。